

爭議ノ永續ニ伴ヒ爭議團ノ結束漸ク弛緩セントシ加フ  
 ルニ既報ノ如ク爭議團内部ニ總同盟ノ應援ヲ依頼シテ  
 解決セントスル氣分漸次濃厚ノ度ヲ加ヘ来リタルヲ以  
 テ最高幹部高岡榮馬等ハ「總同盟ノ應援ニ依ワテ解決セ  
 リト稱セラル、ハ体面上面白カラストナシ急速ニ解決  
 スルヲ有利トシ、會社側亦總同盟ノ應援ヲ重大視シ早急  
 一解決スルヲ得策ナリトシ双方妥協ノ氣分進シ八月四  
 日午後會社側小瀬常務取締役押田技師長外二名、爭議團  
 側高岡榮馬佐藤千代太郎加藤榮吉ハ丸ノ内電氣俱樂部  
 ニ會合シテ内交渉ヲ遂ニ更ラシ八月五日午後會社樓上  
 ニ於テ爭議團側前記ノ外有村正丈、坪田博ヲ加ヘ正式交

渉ヲナシ左記條件ニテ日滿解決ヲ告ケタリ  
 追而解決條件ノ一タル貸與金ハ別記高岡榮馬ノ報告ノ  
 如ク残留従業員ハ各自五十三日二十四錢ノ借用証ヲ差  
 出スモ實際ハ金二十三日二十四錢ヲ交附サル、ノミニ  
 シテ残額三十日ハ被解雇者ノ手ニ渡ルモノナルト又貸  
 與ト稱スルハ名義上ノミニシテ其實ハ給與シタルモノ  
 ナリト解シ居ルヲ以テ會社ニ於テ来ル十月ヨリ之レヲ  
 取り立ワルニ於テハ又々紛議ヲ醸スニアラヌヤト認メ  
 ラル

日記

一、要求書ニ関スル回答

別記會社声明書ノ通